

令和2年6月15日

こども未来部保育課

江東区白河かもめ保育園外3園の指定管理者の選定手続きについて

「江東区公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例」及び「江東区保育所条例」に基づき、江東区白河かもめ保育園及び江東区潮見保育園については平成16年4月1日から、江東区豊洲保育園については平成18年4月1日から、江東区小名木川保育園については平成28年4月1日から指定管理者制度による管理運営を行っているところであるが、令和2年度末をもって指定期間の満了を迎えるため、次のように再選定の手続きを実施する。

1 施設名及び現在の指定管理者

(1) 江東区白河かもめ保育園

①施設名

江東区白河かもめ保育園

(所在地 江東区白河一丁目5番1-101号)

②現在の指定管理者

社会福祉法人 東京児童協会

(所在地 東京都江戸川区船堀二丁目23番10号)

指定期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)

(2) 江東区潮見保育園

①施設名

江東区潮見保育園

(所在地 江東区潮見一丁目29番15-101号)

②現在の指定管理者

社会福祉法人 そのえだ

(所在地 東京都江東区南砂三丁目10番8号)

指定期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)

(3) 江東区豊洲保育園

①施設名

江東区豊洲保育園

(所在地 江東区豊洲四丁目5番6-101号(現在は豊洲四丁目8番12号の仮設園舎での保育))

②現在の指定管理者

社会福祉法人 景行会

(所在地 東京都町田市本町田3133番地5)

指定期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)

(4) 江東区小名木川保育園

①施設名

江東区小名木川保育園

(所在地 江東区北砂一丁目3番30号)

②現在の指定管理者

社会福祉法人 流山中央福祉会

(所在地 千葉県流山市南流山二丁目29番4)

指定期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)

2 選定方法

非公募による

(非公募の理由)

- ① 利用者と施設事業者との高度な信頼関係が求められる保育施設において引き続き管理を行うことで、安定したサービスの確保と事業効果が期待できる。
- ② 適正に保育施設の運営を行っている。
- ③ 年度評価(平成28年度～30年度)も優れており、指定管理者としての能力及び実績が十分にある。
- ④ 利用者アンケートでも多くの保護者から「大変満足」及び「満足」との高い評価を受けている。

3 今後の予定

令和2年8月 江東区公の施設に係る指定管理者選定評価委員会で指定候補者を選定

令和2年9月 令和2年第3回江東区議会定例会に議案を付議

令和3年3月 協定書の締結

令和元年度(2019年度)

認可保育所

法人名称	社会福祉法人東京児童協会
事業所名称	江東区白河かもめ保育園
事業所所在地	東京都江東区白河1丁目5番1号 101号室
事業所電話番号	03-3643-7671

事業者の理念・方針

理念・方針	
<p>事業者が大切にしている考え(事業者の理念・ビジョン・使命など)</p>	<p>1. 法人理念 児童福祉と教育保育、子育て支援及び地域福祉に貢献することを目的として、児童福祉施設の保育所並びに教育保育施設であるこども園の運営を行う。また、健全な経営のもと広域にわたって施設を運営し、子供の福祉や教育保育の増進を図る事業、少子高齢化社会の要求にこたえる事業、最も質の高い教育保育事業と公益事業等の展開と継続を図る</p> <p>2. 園の理念、目標、方針</p> <p>①「笑顔」→子ども職員も保護者も笑顔があふれる保育園にする。 ②大きなおうちの保育を職員全体で学び、実践していく ③子どもの「やりたい」という好奇心を大切にし、想像力豊かなあそびと安定した環境のなかで、子どもたちが生き生きと生活できるようにする。 ④家庭と保育園が二人三脚で子どもたちの成長を支え合えるよう、保護者との信頼関係を深める。 ⑤子育て家庭への交流の場の提供や関係機関との情報交換をとおして地域の子育て支援に取り組む。 ⑥職員一人ひとりの資質や専門性の研鑽をとおして職員の自己実現ややりがいの向上に取り組む。</p>

全体の評価講評

特に良いと思う点

- ・ 緑豊かで自然を実感できる園庭と、多様な素材を用意する等子どもたちが主体的に遊ぶ環境があり、様々な経験や運動ができていく園庭では野菜を育て、田んぼでは稲の種まき・育苗・収穫を行う他、みかん・柿・さくらんぼ等の実のなる木、様々な草木が身近にあり、都会の中でたくさんの発見をしている。拾った草花の様子や色水作り、泥団子作り等の写真を撮影して子どもたちと作った新聞等により、遊びを真似する様子につながっている。職員の声や子どもの会話から、ボランティアの協力による水遊びの際に使用した玩具やシャベル等は、お店屋さんコーナーに片付けができるよう工夫が施されている。ドッジボール等のボール遊びもできる等、子どもたちは様々な経験を重ねている。
- ・ 自ら考え判断し、行動しようとする姿があり、職員はその姿を見守り時に促しながら、友達との関わりを大切にしている教育・保育目標である「自ら考え、判断し、行動しようとする子ども」を育てることを目指し、一人ひとりの気持ちを見逃さずに気持ちを代弁したり受け止めたりする中で、友達との関わりを楽しめるようにすることを大切にしている。ゲームで負けた悔しさを素直に表した子に、それを見た別の子が声をかけ再び遊ぶ姿や、おいしい匂いに誘われ空腹感を感じながらも待っている子どもの姿を見て判断する姿、ルールを身に付けながら友達とドッジボールをする姿等、大人の都合や声かけもない中で、子ども同士で折り合いを付けながら友達との関係も育まれている。
- ・ 理念・方針に向け各クラスで取り組む他、ボランティアの方の活動やドキュメンテーションを活用した方法等の工夫がある園と保護者の情報を共有する連絡アプリの不具合時には、家庭の様子は

受け入れの際に口頭で伝えてもらい、クラスの様子は掲示版を利用して伝えることで、苦情になる前に対応することができている。園の環境整備に尽力しているボランティアの活動については、作業内容や新たに製作された玩具・棚等の作業の様子、完成した物を職員が写真で伝えている。保護者懇談会では、理念・方針に対しての各クラスの子どもの姿を撮影して、「生きる力・夢・思いやり」を育むことを説明し、子どもの1年間の育ちと1年後の見通しがイメージできるよう工夫している。

さらなる改善が望まれる点

- ・保護者からは園の気に入っている点が多く上がっているが、新たな体制の中で保護者との関係の再構築が期待される保護者からは食育の取り組みや子どもの気持ちを汲み取った対応、子どもの興味・関心に対する活動、異年齢保育、園庭での活動の他、職員が好きな子どもが多い等、様々な賞賛の記述が見られている。一方で、2019年度より職員体制が変更しており、対応のばらつきや保育についての意見も出されている。保護者の意見や要望に対する回答は行っているが理解には至っていないことや、管理職から子どもの様子を聴く機会、親とのコミュニケーション等についても要望が出されている。保護者満足度にも変化があったため、今後の改善が期待される。
- ・ONE TEAMとして保育が実践できるよう一体感のある組織を目指し、白河かもめ保育園としての組織の再構築が期待される2018年度はチームビルディングの研修を行い、保育を実践する上での協力や連携を強化するための見直しを行っている。お互いが声をかけ合い、職員の次の課題に対して着実にステップアップできる仕組みの中で実践している。管理職の体制が変更となっており、職員の中からは多くの意見が上がっている。職員のやる気や定着にも影響が懸念される状況にあり、早急な組織の立て直しが必要であると考え。今回の職員調査の内容について振り返り、ONE TEAMとして保育が実践できるよう、一体感のある組織を目指した再構築に期待したい。
- ・指導・指示に関して、業務との関連性や必要性、言動の内容や様態、職場の環境等の課題に対する見直しに期待したい コンプライアンス研修では、職員に関する労働関係法令の厳守、パワハラ・セクハラ等の各種ハラスメントの防止、個人情報保護について確認し、働きやすい職場環境の整備や職員満足度の向上に取り組んでいる。職員からは、管理職に求められる指導・指示と業務との関連性、言動の内容や様態、職場の環境等に課題が示されている。法人研修等で学んでいる上司が部下に指導する際のポイントを再確認し、管理職が求められることについて見直しを図り、管理職と職員とでコミュニケーションを築いていくことが期待される。

事業者が特に力を入れている取り組み

★ 子どもたちが様々な表現活動を楽しんでいる

幼児クラスは異年齢保育を行っており、広い保育室には観察・構成・ごっこ遊び・絵本等、様々なコーナーを設定している。特に製作コーナーには多くの素材や道具を細分化して設定しており、子どもたちの発想を形にしやすいよう工夫している。今年度、子どもたちの発見や感動を人に伝えたいという声から、こども新聞が作成されている。いつでもどこでもその思いを表現できるように園庭に色鉛筆と紙を設置したことで、子どもがその場で空を眺めて描き出したり、虫や葉を観察して描く等、子どもたちの表現活動が豊かに大きく広がっている。

★ 給食室と子どもたちが一緒に、楽しく食育活動を行っている

給食室はくまさんキッチンと名付けられ、子どもたちと給食室の職員が日常的に触れ合いながら食育活動と一緒に取り組んでいる。栄養士は0歳児から全クラスの配膳や食事の介助に関わり、職員と一緒に個々の子どもの様子を把握している。野菜の栽培では、調理師が子どもと一緒に近隣のお店に土や種、苗を買いに行き土作りから関わっている。発芽や成長の様子は都度給食室に子どもたちが伝えに行っており、喜びを共有し合っている。当番の子が給食の3色ボードの食材を聞きに来ると、野菜のなぞなぞを出す等、子どもと一緒に楽しく食育活動を行っている。

★ ボランティアの方々とのつながりを大切に、子どもたちの生活の幅を広げている

ボランティアの方々とのつながりを大切に、子どもたちが普段できない活動を取り入れ生活の幅を広げている。区の取り組みの玩具病院を園で開催し、地域の親子が来園する機会としたことで、そのつながりからお茶の先生のボランティアも受け入れお茶指導を開始している。今では、毎月指導を受けた5歳児が、お茶を点てられるほどになっている。その他、保育環境整備の方には、玩具の修復や工作指導もお願いしている。活動の様子は写真と共に玄関に掲示し、年度末には冊子にまとめて子どもたちの感謝の言葉と共に本人へ渡す等、つながりを大切にしている。

利用者調査結果

調査概要

- ・ **調査対象**: 在園児89名(68世帯)の保護者(お子さんが複数通園されている場合は年齢の低いほうのお子さんについて回答を得る)。
- ・ **調査方法**: アンケート方式
アンケート方式を採用。標準調査項目に独自項目を追加したアンケートと案内文、共通評価項目のねらいを返信用封筒に同封し、園職員を通じて保護者へ配布。ポストへの直接投函と、園内に設置した箱で並行して回収を行い、弊社事業所にて集計を行った。
- ・ 利用者総数: 89人
- ・ 利用者家族総数(世帯): 68世帯
- ・ 共通評価項目による調査対象者数: 68人
- ・ 共通評価項目による調査の有効回答者数: 46人
- ・ 利用者家族総数に対する回答者割合(%): 67.6%
- ・ 調査項目: [共通評価項目](#)

令和元年度(2019年度)

認可保育所

法人名称	社会福祉法人そのえだ
事業所名称	江東区潮見保育園
事業所所在地	東京都江東区潮見1丁目29番15号 101号室
事業所電話番号	03-5632-1304

事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え(事業者の理念・ビジョン・使命など)	1) 集団生活を送るうえでの基本的なルールを身に付ける事。 2) 自ら意思表示が出来て、自己を表現出来るとともに、他者も尊重できる人となるための基礎作り。 3) 抱く必要のない苦手意識を持つことがないように、様々なことを経験し、自己肯定感や達成感を持てるよう関わっていききたい。

全体の評価講評

特に良いと思う点

- ・ 園庭の設備や周辺の恵まれた環境を活かし、戸外での活動を多く取り入れている屋外には人工芝の園庭が大小3か所ある。園庭には砂場・アスレチック遊具・プールが備え付けられるなど、設備が充実している。隣接する公園にも大型遊具があるほか、運河沿いには遊歩道が整備されており、日常的に散歩や戸外活動に活用している。雨の日散歩として、幼児は梅雨の季節に長靴と雨合羽を着用し、ピオトープのある公園まで出かけて植物や生物を観察している。外部講師による体育指導やマラソンを取り入れて、体力作りに励んでいる。
- ・ 子どもたちが主体的に関わることができるように、保育環境を設定している保育室に玩具や廃材などを用いた遊びのコーナーを設置し、子どもが自由な発想で遊びこめる時間や空間を提供している。また、自由遊びの時間は幼児クラスの扉を開放することで、子どもたちが自由に移動して玩具や遊び方を選択できるようにしている。子どもたちが工夫しながら独自のルールを決めて遊ぶ姿が見られ、遊びの中から行事に繋がることもある。
- ・ 学童クラブや地域の子育て支援を利用する親子などと交流する機会がある年間を通して、隣接する学童クラブとの関わりがある。学童クラブには多くの卒園児が在籍しており、季節の行事や体育遊び等で園児と交流している。また、地域の子育て家庭を対象とした「マイほいくえんひろば」を実施しており、園庭開放、夏場のプール開放、身体測定、お誕生会への参加、給食体験、各種行事などへお誘いして交流を図っている。一時保育も専用の保育室を設けて受け入れており、行事などで関わる機会がある。

さらなる改善が望まれる点

- ・ 園のホームページを開設し、当園の情報を外部に発信していく同法人内に保育園を5園運営しているが、当園のみホームページを開設できていない。近隣に他の法人が認可保育所を開設するなど、運営環境は厳しさを増しており、外部に当園の情報を発信していくことが求められている。来年度中の公開に向けて、準備を進めていきたいと考えている。
- ・ 振り返りの機会を持つなど、職員の接遇のさらなる向上に取り組む今回の保護者アンケートでは、職員により子どもへの対応や言葉遣いなどにばらつきがあるとの声が複数聞かれていた。今回寄せられた意見・要望を確認し、対応方法を統一したり、振り返りの機会を持つなど、職員の接遇のさらなる向上に取り組むことが期待される。
- ・ 安易に前例踏襲となっていないか、常に自分たちの業務を建設的に見直していく当園の職員は経験の長い職員が多く、園の指導方針が継続されて外部にアピールできる点となっている。保護者に安心感や信頼感を与えることができている。一方で、新しい発想や異なる切り口からアプローチすることが難しくなっていることを危惧している。安易に前例踏襲となっていないか、常に自分たちの

業務を建設的に見直していきたいと考えている。

事業者が特に力を入れている取り組み

★ 「丈夫な体」・「豊かな心」・「確かな考え方」を目標に掲げ、保育にあたっている
保育目標に「丈夫な体」・「豊かな心」・「確かな考え方」を掲げている。「丈夫な体」は食事や生活リズムと共に体を動かすことで得られるとして、戸外活動や体育指導を積極的に取り入れている。天気の良い日は散歩や公園などに出かけている。自然と触れ合うことで気づきや感動が生まれ、「豊かな心」の形成に繋がると考えている。「確かな考え方」では豊かな感性や創造性を育むことを目指し、主体的に関わる活動を保育のなかに多く取り入れている。

★ 食育教育として外国の食文化に触れたり調理・野菜栽培など年齢に応じた取り組みを行う
園が目指す3本柱の1つ「丈夫な体」を作るため、しっかりとした食事をとることを重視している。献立や調理方法、食材の形状などを検討し、調味料や加工品の使用を最小限に控えて素材本来の味を活かすよう心がけている。行事の際は季節感・彩り・見た目に配慮した行事食を提供し、特別感を味わうことができるようにしている。食育教育として、幼児は外国の食文化に触れたり、調理活動や敷地内の畑で野菜の栽培・収穫をしている。「給食室のお手伝い」と称して、2歳児も食材に触れるなど食に関わる取り組みを行っている。

★ 地域の子育て家庭を対象とした、マイほいくえんひろばや一時保育に取り組んでいる
地域の子育て家庭を対象とした「マイほいくえんひろば」を実施している。毎週1回水曜日に園庭開放を実施し、夏場にはプールを開放している。身体測定(月初め)を行ったり、園で行っているお誕生会や給食体験、季節行事(七夕、豆まき、ひなまつりなど)などへお誘いして交流を図っている。また、区の非定形型一時保育の受け入れを実施している。一時保育は定員が13名で子どもたちが園にいる間は楽しく過ごせるように配慮して保育にあたっている。

利用者調査結果

調査概要

- ・ **調査対象**: 調査日時点の利用者の全世帯を対象とした。子どもの総数は119名、世帯数は110世帯である。
- ・ **調査方法**: アンケート方式
調査票と返信用封筒の配布を事業所に依頼した。回答後、利用者より評価機関宛てに直接郵送してもらった。
- ・ **利用者総数**: 119人
- ・ **利用者家族総数(世帯)**: 110世帯
- ・ **共通評価項目による調査対象者数**: 110人
- ・ **共通評価項目による調査の有効回答者数**: 54人
- ・ **利用者家族総数に対する回答者割合(%)**: 49.1%
- ・ **調査項目**: [共通評価項目](#)

平成30年度

認可保育所

法人名称	社会福祉法人景行会
事業所名称	江東区豊洲保育園
事業所所在地	東京都江東区豊洲4丁目5番6号 101号室
事業所電話番号	03-3533-5427

事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え(事業者の理念・ビジョン・使命など)	1) 子どもの最善の利益を保証する。 2) 未来への大事な人材を育てる。 3) 自己決定、自己選択、自分で考え生き抜く力を育てる。 4) 重要な事項の決定には職員全員が関わり議論できる仕組みにのっとり行なう。 5) 地域社会への貢献と地域の連携

全体の評価講評

特に良いと思う点

- ・ 子どもの主体性や意欲を育む子どもを尊重した保育 子どもの生活の中の様々な豊かな遊び、体験の中に、常に学びがあり、子どもを尊重した子ども中心の考えの保育が行なわれている。遊びや活動では子どもの個々の発達を職員は理解したうえで、保育士主導ではなく、興味や関心のあることに働きかけ、様々な遊具や教具を用意したり、子どもが自由に遊びたい遊びを選んで遊び込める環境を用意している。また、職員は子どもの思いや願い、気持ちを大事にし、見守り、励まし、主体性や意欲を持って取り組めるようにしている。
- ・ 保護者と連携した子どもへの成長支援 全職員で全園児の育ちを見守る姿勢があり、職員会議や昼礼、申し送りなどで把握し子ども一人ひとりの成長や家庭状況に配慮した保育が行なわれている。子どもの様子は個人面談や保護者懇談会などで伝えられるほか、園便りやクラス便りなどで基本的な生活習慣などの大切さや援助方法を伝えている。また個別指導計画は0～2歳児と支援児に作成されて、3～5歳児においても4期ごとに、目標を定め、月ごとに子どもの様子をまとめた保育記録を作成している。毎月保護者に確認してもらっている。保護者と共育のための連携した支援を行なっている。
- ・ 様々な話し合いの場の設定 通常の職員会議やリーダー会議、給食会議、園長・主任・副主任の会議に加えて、新人職員を集めてのフレッシュミーティング、リーダー以外の職員を集めてのサンシャインミーティングが開催されている。また、職員との面談の場は、正規職員に加えて非常勤職員にも設定されている。さらに、子どもの写真を見て、職員間で子どもの育ちについて話し合うグループワークも開催されている。120名定員の園であり、多くの職員が働いているが、様々な意見を言える場を設けることで、職員の力を引き出そうとしている。

さらなる改善が望まれる点

- ・ さらなる保育の質の向上の継続 子ども中心の保育が展開している中、園では外部講師や臨床心理士を園独自で招いて環境や言葉、丁寧な保育、接遇、さらに事例研修や発達障害などの専門研修を行ない、より充実した保育が実践できるように取り組んでいる。さらに園外で開催される区や都、キャリアアップ研修等多くの研修に参加して継続的に組織力向上に努めている。しかし園では様々な会議が多く、職員が多くゆとりがあるが休憩が取れないなどの課題がある。質の向上のため、これらの研修の成果の共有化を図るための努力に期待し、今後も保育の質の向上のさらなる推進に期待したい。
- ・ グループ内交流のさらなる充実化 豊洲保育園を運営する社会福祉法人は、他に2つの保育園を運営し、加えて学童保育、子育て支援事業の運営も行なっている。そこでは多くの職員が働いてお

り、子育て支援についての多くの知見が蓄えられている。今後は、その知見についてのグループ内でのさらなる共有化を図り、法人全体の組織力をより向上させていく取り組みを充実させることにより、約半世紀にわたる法人運営の成果の結集が期待される。

- ・キャリアパス定着に向けた取り組み保育士の処遇改善に伴うキャリアパス導入にグループとして取り組み、年間研修計画の中にキャリアパスについての研修参加を組み込み、参加できる職員から参加をしている。今後の取り組みによりキャリアパス制度を定着化させ、職員のモチベーションアップにつなげていくことが期待される。

事業者が特に力を入れている取り組み

★ 園内研修の充実化に取り組んでいる

外部の公共団体や保育園関連団体の研修に参加することに加えて、園内研修についても充実化に取り組んでいる。毎月1回の元公立園の園長を招いての保育環境に関する研修、臨床心理士による子どもの発達についてのケース検討、AEDやアナフィラキシー症状の進行を一時的に緩和し、ショックを防ぐための補助治療剤についての保健関連研修、近隣の保育園との合同のわらべ歌研修、写真を見て子どもの育ちを話し合うグループワークなどを実施し、園の支援力向上に努めている。

★ 卒園児と継続的に交流を図っている

園では地域を大切にするという一環として、卒園児の小学生のために、毎年6月に人形劇を開催し招待している。また夏休みに卒園児を受け入れ、1年生から3年生までは、保育園で遊ぼうという形で1日受け入れ、4年生以上はボランティアという形で受け入れている。卒園児は、在園児の着替えや寝かしつけを手伝ったり、一緒に遊んであげたりしながら保育士とも交流し、在園児が昼寝をしている間は自分達で遊んだり勉強をしたりしながら過ごしている。職員も学校公開等の機会に出向いて、卒園児との交流が途切れることなく継続的に行なわれている。

★ 子ども同士の話し合いの場を通して気持ちのコントロールができるようにしている

園では、特に幼児クラスにおいて、話し合いの機会を大切にして子ども同士が友達との関わりの中で、自分の気持ちをコントロールできるようにしている。クラスにおける劇発表では、配役やセリフについて子ども同士で話し合いながら決めていくが、その中で役を譲り合ったり、友達の様子に合わせてセリフについて配慮したりといった子ども同士が思いやる姿がみられている。子ども主体で職員が関わり、子どもの気持ちを引き出す支援を継続することにより、子どもが自分の気持ちをコントロールすることができるよう支援している。

利用者調査結果

調査概要

- ・調査対象：調査票配付日現在の子どもの総数120名に対する保護者世帯(114世帯)を単位として対象とした。
- ・調査方法：アンケート方式
利用者調査実施の案内状と返信用封筒(料金受取人払郵便)を添えて、アンケート用紙を園を通じて配付した。記入後のアンケートは、園を介さずに、直接評価機関へ郵送という形で回収した。
- ・利用者総数：120人
- ・利用者家族総数(世帯)：114世帯
- ・共通評価項目による調査対象者数：114人
- ・共通評価項目による調査の有効回答者数：47人
- ・利用者家族総数に対する回答者割合(%)：41.2%
- ・調査項目：[共通評価項目](#)

平成29年度

認可保育所

法人名称	社会福祉法人流山中央福祉会
事業所名称	江東区小名木川保育園
事業所所在地	東京都江東区北砂1丁目3番30号
事業所電話番号	03-3645-6807

事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え(事業者の理念・ビジョン・使命など)	<p>保育理念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養護と教育が一体となって豊かな人間性を持った子どもを育成する ・健全な新進を図ることを基本に遊びを通して心身の発達を援助する ・愛情豊かに一人ひとりと触れ合う <p>「豊かな情操」「丈夫な体」「広い社会性」「確かな基礎能力」を4つの柱にし、 くつろいだ環境の中で情緒の安定をはかり、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心も体も健康な子ども ・意欲的で自主性のある子ども ・思いやりのある子ども ・感性・創造性豊かな子ども <p>を家庭と地域との連携のもと実体験や人との関わりの中で育むことを保育目標にしている。</p>

全体の評価講評

特に良いと思う点

- ・園生活を通して、子どもたちがより多くの体験ができるように配慮して計画を作り込んでいる保育の特色として絵本の読み聞かせと体力増進を掲げている。絵本の読み聞かせでは、集中力や創造力、文字に対する興味等をテーマに、日々の活動にも取り入れることで絵本の世界が広がるようにしている。体力増進では体操指導を取り入れ、室内外で多様な活動を行っている。また、英語やヒップホップの指導もあり、行事等の成果につなげられるようにして取り組んでいる。行事も運動会や発表会の他、数多くの季節行事等が職員の準備と創意工夫のもとで行われている。特色のある活動には、保護者も高い満足度を示している。
- ・各年齢に応じて、子ども主体の活動が自在に発展していけるような環境作りを進めている保育室は、年齢に応じて子ども主体の遊びが保障されるような環境の作り込みが行われており、場面に応じたコーナー設定や子どもが選択できるような遊具玩具の配置等の工夫がされている。また、絵本の他、教材や図鑑等の書籍類も多様に揃えられており、表現活動や学習的な興味にも応えられるようにしている。保育室だけでなく共有スペースもフルに活用して遊びが展開できるような工夫もあり、子どもたちがクラスを超えて自由に移動しながら興味関心に沿って遊び込めるようになっている。
- ・充実した研修制度の活用で質の向上を図ると共に、職員が意欲的に取り組むことができる職場環境作りが行われている研修制度の充実が法人の強みの一つでもあり、新人研修や法人合同研修、姉妹園との相互学習等の機会が多く、外部研修への参加も積極的に支援している。また、法人で標準化された業務遂行度評価シートと面談を組み合わせた育成支援の仕組みがあり、個々の職位や状況に応じた指導ができるようになっている。現在法人として人事制度の強化に取り組んでおり、各園の状況を踏まえて一層の充実が図られる予定になっている。園職員も開園2年目となり、初年度からの改善成果をもとにさらなる取り組みを行う意欲が示されている。

さらなる改善が望まれる点

- ・保護者対応の面では、園としての標準化を意識した取り組みも期待される保護者アンケートの自由記述には、職員の接遇や子どもとの関わりについて好意的な意見が数多く示されており、高い満足度につながっている。一方で、降園時を中心とした時間帯では場面によって対応の違い等も示されている。園として求める水準を確認した上で、適切な対応が行われることも期待される。
- ・記録等の日常業務については、効率化を図ることも期待されている法人として処遇改善や福利厚生充実の充実に取り組み、働きやすい職場作りを推進している。園としても、面談等を通して職員個々の状況に応じたサポートを行い、日々意欲を持って業務に取り組めるように配慮している。職員のアンケートでは、改善に向けた建設的な意見として業務の効率化や情報伝達等が示されており、今後の取り組みが期待される。
- ・2年目の園として、行事や環境整備については継続した取り組みが必要と考えている行事内容は子どもに多くの体験の機会を作るという視点で工夫が取り入れられており、保護者のアンケートをもとにした改善の取り組みを実施している。また、室内環境も各クラスそれぞれに子ども主体の遊びを保障する作り込みが行われている。園としてはまだ開園から2年目でもあり、今後とも活動成果等を検証し、職員の連携協力のもとで質の向上を図っていくことが必要と考えている。

事業者が特に力を入れている取り組み

★ 園の特色として体育・英語・ヒップホップに取り組んでいる

幼児クラスを中心に実施している外部専任講師による体育指導、英語指導、ヒップホップ(4・5歳児)は、子どもたちの生活に活力と楽しさを与えている。体育指導はクラス別に行い、子どもたちが楽しく運動しながら体を鍛え、運動する喜びを感じ合っている。ここで培った子ども同士の連帯感や協調性は、秋の運動会でも発揮されている。英語指導では異文化に触れ、10月のハロウィンでは子どもたちが家庭から仮装して登園して得意そうな姿を見せる等、パーティーを楽しんでいる。4・5歳のヒップホップは、年少の子どもたちの憧れになっている。

★ 野菜の栽培やクッキングを通して、子どもたちが食への関心を高めている

園庭のプランターやテラスを活用し、幼児を中心に野菜の栽培を実施している。子どもたちは水やり等を通して野菜が育っていく過程を楽しみ、収穫の際には調理して食べる等を経験している。5歳児はドレッシング作りやクッキー作りを通して、自分たちで作ったものを味わうことの楽しさを感じ合っている。4歳児は食事の手伝いとして、シイタケの軸取りのコツをお互いに学び合っており、調理後の中華丼に入っている様子を見て喜んでいる。様々な身近な体験を通して、子どもたちは食への関心を高めている。

★ 親子の絵本との触れ合いを援助し、園内での読み聞かせやお話会を行っている

園では親子の絵本の触れ合いを援助していくため、居心地の良い雰囲気のある絵本の貸し出しコーナーを作り、保護者もお迎え時にホッと一息ついて絵本を手にとれるよう配慮している。保育者は交代に絵本の読み聞かせを行っており、お話を聞く会や人形劇、手作りの紙芝居、大型絵本等を導入して、子どもたちがお話の世界や絵本の世界を楽しめるよう援助している。絵本の貸し出しでは絵本カードを活用し、10冊目毎にスタンプを押す等、何冊読破していくかを自らの記念にしている。

利用者調査結果

調査概要

- ・調査対象: 在園児132名(110世帯)の保護者(お子さんが複数通園されている場合は年齢の低いほうのお子さんについて回答を得る)。
- ・調査方法: アンケート方式
アンケート方式を採用。標準調査項目に独自項目を追加したアンケートと案内文、共通評価項目のねらいを返信用封筒に同封し、園職員を通じて保護者へ配布。ポストへの直接投函と、園内に設置した箱と並行して回収を行い、弊社事業所にて集計を行った。
- ・利用者総数: 132人
- ・利用者家族総数(世帯): 110世帯
- ・共通評価項目による調査対象者数: 110人
- ・共通評価項目による調査の有効回答者数: 63人

- 利用者家族総数に対する回答者割合(%): 57.3%
- 調査項目: [共通評価項目](#)

利用者アンケート結果(平成29年度～令和元年度)

評価対象		保育所区分	白河かもめ保育園	潮見保育園	豊洲保育園	小名木川保育園
		回答率	平均割合(%)	平均割合(%)	平均割合(%)	平均割合(%)
【毎日の保育サービス 17問】						
問1	保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	はい	98.7%	97.7%	96.1%	97.7%
		どちらともいえない	0.6%	1.4%	1.0%	1.4%
		いいえ	0.0%	0.9%	2.5%	0.9%
		非該当	0.6%	0.0%	0.5%	0.0%
問2	保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっていくか	はい	96.8%	96.3%	93.1%	97.7%
		どちらともいえない	1.9%	3.7%	6.4%	1.8%
		いいえ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		非該当	1.3%	0.0%	0.5%	0.5%
問3	提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	はい	96.8%	93.5%	96.1%	89.6%
		どちらともいえない	1.9%	6.0%	3.4%	8.1%
		いいえ	0.6%	0.0%	0.0%	1.8%
		非該当	0.6%	0.5%	0.5%	0.5%
問4	保育所の生活で身近な自然や社会と十分に関わっているか	はい	93.6%	96.3%	78.3%	83.3%
		どちらともいえない	6.4%	2.8%	18.2%	13.1%
		いいえ	0.0%	0.0%	3.0%	3.2%
		非該当	0.0%	0.9%	0.5%	0.5%
問5	保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	はい	80.8%	86.5%	79.8%	74.8%
		どちらともいえない	7.7%	4.2%	7.9%	7.7%
		いいえ	1.3%	0.0%	0.5%	0.9%
		非該当	10.3%	9.3%	11.8%	16.7%
問6	安全対策が十分取られていると思うか	はい	88.5%	75.8%	70.4%	77.0%
		どちらともいえない	10.3%	21.4%	24.1%	20.3%
		いいえ	0.0%	1.4%	4.4%	1.4%
		非該当	1.3%	1.4%	1.0%	1.4%
問7	行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	はい	89.1%	93.5%	84.2%	85.1%
		どちらともいえない	10.3%	6.0%	11.3%	12.6%
		いいえ	0.6%	0.0%	2.0%	1.8%
		非該当	0.0%	0.5%	2.5%	0.5%
問8	子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	はい	85.9%	89.8%	80.8%	77.0%
		どちらともいえない	12.8%	8.8%	16.7%	18.9%
		いいえ	0.6%	0.0%	1.5%	2.7%
		非該当	0.6%	1.4%	1.0%	1.4%
問9	施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	はい	96.2%	94.4%	83.3%	88.3%
		どちらともいえない	3.2%	3.7%	12.8%	8.6%
		いいえ	0.6%	0.9%	3.0%	2.3%
		非該当	0.0%	0.9%	1.0%	0.9%
問10	職員の接遇・態度は適切か	はい	91.0%	85.6%	86.7%	88.3%
		どちらともいえない	7.7%	9.8%	10.8%	9.9%
		いいえ	0.6%	2.3%	1.5%	0.5%
		非該当	0.6%	2.3%	1.0%	1.4%
問11	病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	はい	90.4%	92.1%	86.2%	87.4%
		どちらともいえない	9.0%	5.6%	9.4%	9.0%
		いいえ	0.0%	0.9%	3.0%	1.8%
		非該当	0.6%	1.4%	1.5%	1.8%
問12	子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	はい	67.9%	73.5%	70.9%	64.4%
		どちらともいえない	23.1%	15.8%	19.7%	22.1%
		いいえ	1.3%	1.4%	4.4%	3.2%
		非該当	7.7%	9.3%	4.9%	10.4%
問13	子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	はい	85.3%	92.6%	86.2%	86.5%
		どちらともいえない	13.5%	4.7%	11.3%	11.7%
		いいえ	0.6%	0.9%	1.0%	0.5%
		非該当	0.6%	1.9%	1.5%	1.4%
問14	子どもと保護者のプライバシーは守られているか	はい	85.3%	88.8%	88.7%	84.7%
		どちらともいえない	8.3%	6.5%	7.9%	9.5%
		いいえ	0.6%	0.5%	1.0%	0.0%
		非該当	5.8%	4.2%	2.5%	5.9%
問15	保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	はい	73.7%	91.6%	82.3%	83.3%
		どちらともいえない	22.4%	6.0%	13.3%	14.9%
		いいえ	3.8%	0.0%	2.5%	1.4%
		非該当	0.0%	2.3%	2.0%	0.5%
問16	利用者の不満や要望は対応されているか	はい	74.4%	82.8%	77.8%	72.5%
		どちらともいえない	18.6%	7.9%	13.3%	14.9%
		いいえ	1.3%	0.9%	1.5%	1.8%
		非該当	5.8%	8.4%	7.4%	10.8%
問17	外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	はい	53.2%	58.1%	56.2%	46.8%
		どちらともいえない	21.8%	15.8%	22.2%	18.9%
		いいえ	11.5%	6.0%	5.4%	8.6%
		非該当	13.5%	20.0%	16.3%	25.7%

《総合的な感想についてお聞きます》

〔1〕	現在利用している保育園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか	大変満足	62.8%	74.0%	53.2%	52.7%
		満足	32.1%	21.4%	37.4%	41.9%
		どちらともいえない	3.8%	2.3%	5.4%	3.2%
		不満	0.0%	0.9%	3.0%	0.0%
		大変不満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		非該当	1.3%	1.4%	1.0%	2.3%
		「大変満足」及び「満足」の合計	94.9%	95.3%	90.6%	94.6%

※ 平均割合は、平成29年度～令和元年度における各回答数を全回答者数で除した値

利用者アンケート結果(平成28年度)

評価対象		保育所区分	白河かもめ保育園	潮見保育園	豊洲保育園	小名木川保育園
		回答率	81.9%	42.2%	72.5%	54.8%
【毎日の保育サービス 16問】						
問1	提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	はい	96.6%	90.7%	94.6%	81.0%
		どちらともいえない	3.4%	7.0%	2.7%	12.7%
		いいえ	0.0%	2.3%	1.4%	1.6%
		非該当	0.0%	0.0%	1.4%	4.8%
問2	保育所の生活で身近な自然や社会と十分に関わっているか	はい	100.0%	95.3%	95.9%	84.1%
		どちらともいえない	0.0%	4.7%	4.1%	15.9%
		いいえ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		非該当	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
問3	保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	はい	93.2%	88.4%	81.1%	85.7%
		どちらともいえない	5.1%	4.7%	9.5%	11.1%
		いいえ	0.0%	0.0%	2.7%	1.6%
		非該当	1.7%	7.0%	6.8%	1.6%
問4	安全対策が十分取られていると思うか	はい	89.8%	74.4%	70.3%	63.5%
		どちらともいえない	10.2%	23.3%	23.0%	31.7%
		いいえ	0.0%	2.3%	6.8%	3.2%
		非該当	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%
問5	行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	はい	89.8%	100.0%	75.7%	68.3%
		どちらともいえない	8.5%	0.0%	20.3%	28.6%
		いいえ	1.7%	0.0%	4.1%	3.2%
		非該当	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
問6	子ども保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	はい	98.3%	93.0%	83.8%	82.5%
		どちらともいえない	1.7%	4.7%	14.9%	14.3%
		いいえ	0.0%	2.3%	1.4%	3.2%
		非該当	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
問7	保護者の考えを聞く姿勢があるか	はい	96.6%	95.3%	87.8%	81.0%
		どちらともいえない	1.7%	4.7%	10.8%	17.5%
		いいえ	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%
		非該当	1.7%	0.0%	0.0%	1.6%
問8	施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	はい	100.0%	90.7%	82.4%	76.2%
		どちらともいえない	0.0%	7.0%	14.9%	19.0%
		いいえ	0.0%	0.0%	2.7%	4.8%
		非該当	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%
問9	職員の接遇・態度は適切か	はい	96.6%	88.4%	81.1%	71.4%
		どちらともいえない	3.4%	4.7%	17.6%	27.0%
		いいえ	0.0%	4.7%	1.4%	1.6%
		非該当	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%
問10	病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	はい	96.6%	90.7%	82.4%	69.8%
		どちらともいえない	1.7%	7.0%	12.2%	17.5%
		いいえ	0.0%	0.0%	2.7%	3.2%
		非該当	1.7%	2.3%	2.7%	9.5%
問11	子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	はい	84.7%	69.8%	67.6%	50.8%
		どちらともいえない	5.1%	25.6%	24.3%	30.2%
		いいえ	0.0%	0.0%	5.4%	0.0%
		非該当	10.2%	4.7%	2.7%	19.0%
問12	子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	はい	91.5%	93.0%	90.5%	77.8%
		どちらともいえない	6.8%	4.7%	9.5%	20.6%
		いいえ	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%
		非該当	1.7%	0.0%	0.0%	1.6%
問13	子どもと保護者のプライバシーは守られているか	はい	91.5%	76.7%	83.8%	81.0%
		どちらともいえない	6.8%	16.3%	13.5%	11.1%
		いいえ	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%
		非該当	1.7%	4.7%	2.7%	7.9%
問14	保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	はい	89.8%	86.0%	81.1%	84.1%
		どちらともいえない	10.2%	9.3%	17.6%	15.9%
		いいえ	0.0%	2.3%	1.4%	0.0%
		非該当	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%
問15	利用者の不安や要望は対応されているか	はい	79.7%	88.4%	70.3%	44.4%
		どちらともいえない	8.5%	4.7%	21.6%	34.9%
		いいえ	0.0%	2.3%	1.4%	3.2%
		非該当	11.9%	4.7%	6.8%	17.5%
問16	外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	はい	72.9%	74.4%	70.3%	57.1%
		どちらともいえない	13.6%	16.3%	14.9%	22.2%
		いいえ	10.2%	2.3%	6.8%	6.3%
		非該当	3.4%	7.0%	8.1%	14.3%
《総合的な感想についてお聞きます》						
〔1〕	現在利用している保育園を総合的にみて、どのよう感じていますか	大変満足	76.3%	69.8%	50.0%	36.5%
		満足	23.7%	23.3%	40.5%	54.0%
		どちらともいえない	0.0%	4.7%	6.8%	6.3%
		不満	0.0%	2.3%	2.7%	3.2%
		大変不満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		非該当	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		「大変満足」及び「満足」の合計	100.0%	93.1%	90.5%	90.5%